

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 コムシスホールディングス株式会社

コード番号 1721 URL <https://www.comsys-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名)加賀谷 卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名)真下 徹 TEL 03-3448-7000

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	383,753	7.2	24,292	43.2	25,425	40.2	17,507	50.3
2023年3月期第3四半期	357,930	△8.2	16,967	△39.1	18,138	△37.2	11,648	△38.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 21,140百万円 (83.0%) 2023年3月期第3四半期 11,554百万円 (△40.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	145.48	145.33
2023年3月期第3四半期	95.45	95.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	497,587	353,448	69.8
2023年3月期	502,133	346,725	67.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 347,530百万円 2023年3月期 341,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2024年3月期	—	50.00	—		
2024年3月期(予想)				55.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	570,000	1.2	34,000	5.9	34,500	11.5	23,000	18.9	190.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	133,000,000株	2023年3月期	141,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	13,098,361株	2023年3月期	20,221,171株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	120,344,344株	2023年3月期3Q	122,033,856株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、社会経済活動の正常化が進む中、景気の緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、エネルギー価格及び原材料価格の高騰、また、金融資本市場の変動等に引き続き注視する必要があります。

コムシスグループを取り巻く事業環境につきましては、通信インフラ分野においては、地域のデジタル化の加速に向けた光ファイバ及び5Gの整備による固定ブロードバンド未整備地域の解消に加え、都市部でのモバイル通信品質向上に向けた通信設備の整備などデジタルインフラ整備の取り組みが進められております。また、令和6年能登半島地震におきましては、通信ケーブルの切断など通信設備に大きな打撃を受けたことから早期復旧が求められております。

ITソリューション分野においては、市場全体として継続的に拡大しております。近年はデジタル技術による地方の課題解決に向けて、行政・公共・医療・介護等複数の分野においてデータを共有及び活用できるデータ連携基盤の整備などDX化が進められております。

社会インフラ分野においては、DXの進展やICTサービスの需要増によるデータセンター建設拡大により活況は続いています。またこれに加えて、激甚化・頻発化する自然災害、インフラ老朽化に対応した防災・減災、国土強靱化施策の推進、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギー分野へのGX成長投資も期待されており、近年、広域的・戦略的なマネジメントにより、複合化・多機能化・効果最大化をはじめとする国土基盤の高質化を図ることが求められております。

コムシスグループといたしましては、通信インフラ分野においては、モバイル関連工事が減少するなど厳しい事業環境の中、地域ブランドの強みを最大限に活かした周辺ビジネスの拡大、インフラシェアリング事業など新規顧客獲得に向けた営業力強化、コムシスグループ全体最適化を目指したエリアマネジメント体制の強化、アクセス・モバイル事業一体運営に向けた複合技術者育成など事業基盤強化に取り組んでまいりました。昨年の台風6号による沖縄での自然災害においては、被災した通信設備の復旧に取り組んでまいりましたが、1月に発生した令和6年能登半島地震における被災地域の通信設備復旧にもグループ一丸となって取り組んでまいります。

成長分野であるITソリューション事業においては、アライアンスパートナーとの協業による大型案件の獲得、元請案件の増加に伴うプロジェクトマネジメント強化に取り組んでまいりました。今後はIT投資の最大マーケットである首都圏での一体運営強化、キャリア事業との連携による高レイヤへのリソースシフト及びフルレイヤソリューションの提供により新規事業領域の拡大を図ってまいります。

社会システム関連事業等においては、海底ケーブル陸揚げ案件で培った技術の弧状推進工法による通信管路構築、バーチャルカンパニーを活用したグループ連携による大型高速道路案件の獲得などトップライン拡大に努めてまいりました。今後も引き続き堅調なデータセンター事業の受注拡大、コムシスグループ全体での技術者育成、人材リソースの柔軟な流動に取り組んでまいります。

今後とも、DXを活用した生産性向上、多様で柔軟な働き方改革の深化、新たな事業環境に対応した人材育成など、引き続きコムシスグループの経営基盤強化を図ってまいります。また、サステナビリティの取り組みとして、SBT認定を取得（2023年10月）いたしました。引き続き温室効果ガス排出削減に向けて積極的に取り組み、SDGsの目指す社会の実現に貢献するとともに、コムシスグループの持続的成長を図ってまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間につきましては、受注高446,678百万円（前年同期比11.0%増）、売上高は383,753百万円（前年同期比7.2%増）となりました。また、損益につきましては、営業利益は24,292百万円（前年同期比43.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は17,507百万円（前年同期比50.3%増）となりました。

【グループ別の受注高・売上高・セグメント利益〔営業利益〕】

(単位：百万円)

報告セグメント	受注高		売上高		セグメント利益 〔営業利益〕	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本コムシスグループ	211,356	19.7%	171,785	10.1%	9,759	176.9%
サンワコムシス エンジニアリンググループ	45,948	△5.1%	42,564	△3.7%	2,705	△34.6%
TOSYSグループ	26,559	9.4%	22,874	6.6%	1,214	24.3%
つうけんグループ	50,469	5.0%	45,433	12.7%	4,275	25.1%
NDSグループ	63,659	8.4%	57,423	3.2%	3,639	47.3%
SYSKENグループ	23,858	△0.3%	21,540	12.6%	662	4.1%
北陸電話工事グループ	13,301	13.4%	11,434	2.2%	567	36.5%
コムシス情報システムグループ	10,092	10.4%	9,266	8.8%	1,110	20.2%

(注) 「受注高」及び「売上高」は外部顧客への取引高を記載しております。なお、「セグメント利益」は当社及びセグメント間取引により生じた利益を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ4,545百万円減少し497,587百万円、負債は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ11,268百万円減少し144,139百万円となっております。

また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加などにより前連結会計年度末に比べ6,723百万円増加し、353,448百万円となりました。

この結果、自己資本比率は69.8%（前連結会計年度末は67.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月11日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	41,367	55,193
受取手形・完成工事未収入金等	187,954	135,705
未成工事支出金等	51,992	71,313
その他の棚卸資産	5,598	6,685
その他	18,362	23,934
貸倒引当金	△1,291	△106
流動資産合計	303,983	292,726
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	44,498	45,290
土地	70,084	76,224
その他（純額）	28,654	26,168
有形固定資産合計	143,236	147,683
無形固定資産		
のれん	1,648	834
その他	5,089	5,420
無形固定資産合計	6,737	6,255
投資その他の資産		
投資有価証券	25,454	30,161
その他	25,530	23,572
貸倒引当金	△2,809	△2,811
投資その他の資産合計	48,175	50,923
固定資産合計	198,149	204,861
資産合計	502,133	497,587

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	82,842	59,073
短期借入金	3,950	18,996
未払法人税等	5,075	2,405
未成工事受入金	7,771	16,671
引当金	6,061	256
その他	28,745	24,779
流動負債合計	134,446	122,183
固定負債		
長期借入金	179	88
再評価に係る繰延税金負債	1,213	1,213
退職給付に係る負債	14,151	14,400
役員退職慰労引当金	616	584
環境対策引当金	400	400
その他	4,399	5,269
固定負債合計	20,961	21,955
負債合計	155,407	144,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	93,113	75,243
利益剰余金	286,284	290,972
自己株式	△45,318	△30,055
株主資本合計	344,079	346,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,722	7,065
繰延ヘッジ損益	△78	△57
土地再評価差額金	△8,250	△7,303
退職給付に係る調整累計額	1,620	1,666
その他の包括利益累計額合計	△2,985	1,370
新株予約権	939	1,022
非支配株主持分	4,692	4,895
純資産合計	346,725	353,448
負債純資産合計	502,133	497,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	357,930	383,753
売上原価	314,331	333,491
売上総利益	43,599	50,262
販売費及び一般管理費	26,631	25,969
営業利益	16,967	24,292
営業外収益		
受取利息	18	15
受取配当金	847	798
固定資産賃貸料	228	204
その他	394	391
営業外収益合計	1,488	1,409
営業外費用		
支払利息	21	14
賃貸費用	74	70
遊休資産費用	52	61
その他	168	131
営業外費用合計	317	277
経常利益	18,138	25,425
特別利益		
固定資産売却益	26	1,831
投資有価証券売却益	24	22
関係会社株式売却益	218	—
その他	69	280
特別利益合計	339	2,134
特別損失		
固定資産除却損	153	104
固定資産売却損	143	0
固定資産圧縮損	—	660
その他	205	427
特別損失合計	502	1,193
税金等調整前四半期純利益	17,976	26,366
法人税等	6,425	8,657
四半期純利益	11,550	17,708
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△97	200
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,648	17,507

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	11,550	17,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	3,365
繰延ヘッジ損益	△183	20
退職給付に係る調整額	120	45
その他の包括利益合計	3	3,432
四半期包括利益	11,554	21,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,653	20,917
非支配株主に係る四半期包括利益	△99	223

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金の残高は、前連結会計年度末より17,870百万円減少し、75,243百万円となっております。また、自己株式の残高は、前連結会計年度末より15,263百万円減少し、30,055百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

① 自己株式の取得

当社は2023年5月11日及び2023年11月9日開催の取締役会の決議に基づき、2023年5月12日から2023年12月31日までの期間に自己株式1,012千株を取得しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,999百万円増加しております。

② 自己株式の消却

当社は2023年5月11日開催の取締役会の決議に基づき、2023年5月31日付で自己株式8,000千株を消却しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ17,956百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。